

授業科目名	保育・教職実践演習		科目コード	204044	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	3 年
担当教員	米丸 真由美		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無)		
	実務経験内容 ・ 保育所・保育園及び認定こども園の現場に 19 年ほど勤務し、各年齢のクラス担任を経験。実務経験を活かして、保育・教育職の意義と職務内容を理解し、また知識・技能の習得確認ができる授業を行う。 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名				
	著 者				
	出版社				
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ これまで身につけた知識や技術を、保育者として現場で職務にあたる際、実践的に発揮できる力があるか確認する。 ・ 保育者として必要なコミュニケーション能力を習得する。 ・ 自分自身の課題を知るとともに、自己研鑽を積み、さらなる能力の向上を図る。					
<授業の概要・授業方針> ・ これまでの学習と実習の成果を振り返りながら、保育士・幼稚園教諭に求められる資質、能力の習得を確認する授業を行う。またそれらの能力向上に努めることができるよう、発表・議論・実践などを組み合わせて行う。 ・ さらなる知識、技術の向上を目指し、保育者としての使命感と職責の理解をさらに深めることができる。					
<成績基準・評価基準> 授業の理解度は、授業における発言を含む授業態度と課題・レポートで評価します。 ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 成績評価 1 授業における発言を含む授業態度 50% 2 課題・レポート 50%					
<使用問題集・注意事項>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

- ・ 保育者として必要な知識・技能の中で、自己に欠けている課題を把握し、それらの向上に努める。
- ・ 保育者として必要なコミュニケーション能力の向上に取り組む。

授業科目名		保育・教職実践演習（授業）
回	授 業 内 容	
		備 考
1	保育・教職実践演習概要 オリエンテーション	
2	保育者としての自己分析①	
3	保育者としての自己分析②	
4	保育者としての社会的使命と役割①	
5	保育者としての社会的使命と役割②	
6	保育・教育職の意義と職務内容	
7	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践①	
8	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践②	
9	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践③	
10	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践④	
11	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践⑤	
12	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践⑥	
13	保育者に必要なコミュニケーション能力 実践⑦	
14	力量や専門性の自覚	
15	まとめ	

授業科目名		保育・教職実践演習（スクーリング）	
回	授 業 内 容		備 考
1	保育・教職実践演習概要 履修カルテ		
2	保育者としての教育的愛情		
3	保育実践を振り返る意義		
4	保育の振り返り 振り返りのプロセス①		
5	保育の振り返り 振り返りのプロセス②		
6	保育の振り返り グループワーク①		
7	保育の振り返り グループワーク②		
8	保育の振り返り グループワーク③		
9	家庭・地域社会との連携		
10	子ども・保護者との信頼関係の構築①		
11	子ども・保護者との信頼関係の構築②		
12	子ども・保護者との信頼関係の構築③		
13	保育者の協働・同僚性		
14	保育者としての姿勢		
15	まとめ		